

# 「民族共生象徴空間」基本構想（改定版）概要

## 象徴空間の意義・目的、位置、名称等

- 【象徴空間の意義・目的】アイヌ文化の復興・民族の共生
- アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターという象徴空間の位置付けを踏まえ、アイヌ語等の愛称を設定（H31公募）。

| 区分  | これまでの呼称         | 正式名称       |
|-----|-----------------|------------|
| 全体  | 民族共生の象徴となる空間    | 民族共生象徴空間   |
| 博物館 | 国立のアイヌ文化博物館(仮称) | 国立アイヌ民族博物館 |
| 公園  | 国立の民族共生公園(仮称)   | 国立民族共生公園   |

## 中核区域

将来へ向けてアイヌ文化の継承及びアイヌ文化の創造発展につなげるための拠点となるよう、中核区域に「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」を整備。

**中核区域**

**国立民族共生公園**  
○体験交流施設等

ポロト温泉 予定地

芝生広場

体験交流施設

駐車場

ウツナイ

エントランス

国立アイヌ民族博物館

伝統的コタン

ポロト湖畔とアイヌの伝統的家屋

伝統的コタンの再現

国立アイヌ民族博物館

アイヌ古式舞踊

## 慰霊施設

アイヌの人々による尊厳ある慰霊の実現に向けて、ポロト湖の東側の太平洋を望む高台に整備。



## 関連区域

中核区域と周辺の関連区域が一体となり、世代を超えてアイヌ文化を体験できる「フィールドミュージアム」を構成。

**【周辺の関連区域／ポロト湖周辺図】**

ポロト自然休養林

ウツナイ川

遊歩道

ポロト湖

慰霊施設

白老町

社台第三

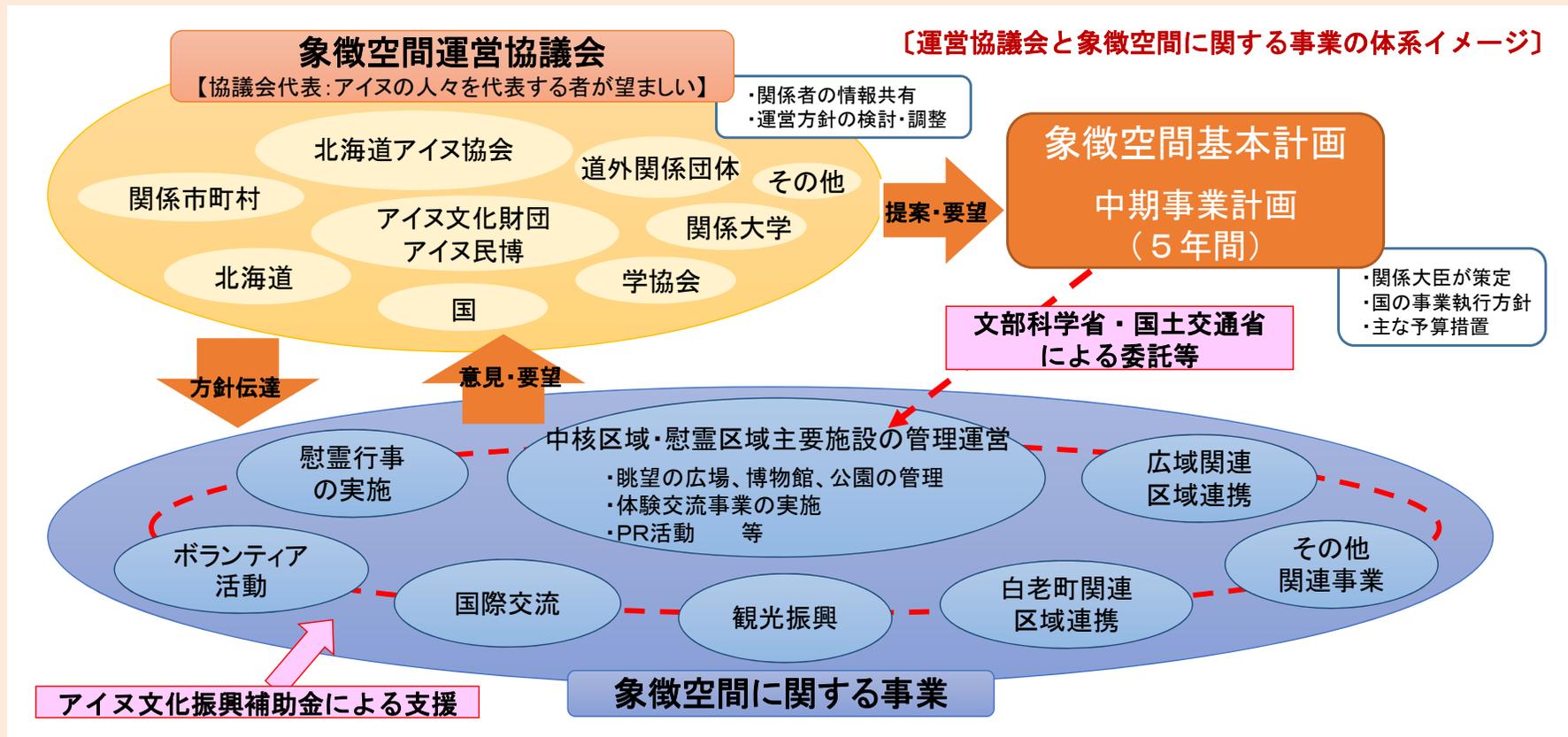
ヨコスト湿原・海岸

ポント沼

仙台藩陣屋跡

白老駅

**中核区域**



## アイヌ文化復興に向けた全国的なネットワークの構築

- 象徴空間を「扇の要」としつつ、産業振興、観光振興、地域づくり・地方創生など、各省庁及び地方公共団体が有するプログラムや財源を総合的かつ戦略的に活用することにより、アイヌ文化復興等に関する取組の全国的な拡大とそのネットワーク化を図る。
- 年間100万人の来場者目標を達成するためには、アイヌ文化の伝承活動等が盛んな地域との連携が不可欠であり、広域関連区域としての連携等を含め、関係者の理解促進を図る。

〔アイヌ文化復興に関する総合的・戦略的な施策展開の概念図〕

